

あさがお通信

新年のご挨拶

鎌田 昭二郎

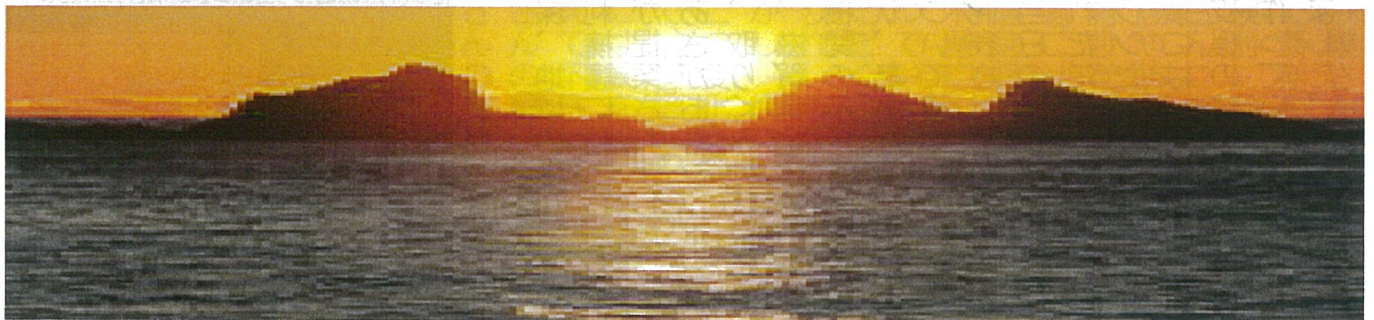
第19号

2010年1月1日発行
大津市浜大津3-2-4
NPO 法人 あさがお
発行人 鎌田 昭二郎

あけましておめでとございませう。会員はじめ皆様方には御一家打揃い清々しい新年を賑々しくお迎えになった事と拝察し心からお喜びいたします。また昨年は『あさがお』に対しまして物心両面に亘る御指導、御支援を戴きお蔭をもちまして順調な歩みを行うことができました。改めてお礼を申し上げます。

あさがおは平成17年2月萌芽を出しましたが、その間4年、ようやく執行体制の整備が出来、事業の拡大・充実がはかられました。『あさがお』がようやく夢を天に向って伸ばし始めたと思っています。

福祉サービスにかかわるものはユーザーに対し『何がしてあげられるか』でなく『ユーザーが何を欲しているのか』それを満たすためにどうすればよいかの姿勢が基本と存じます。『あさがお』一同創業の志を忘れず本年も歩みますので、会員はじめ関係機関（特に大津市・県）、団体の倍旧の御支援を申し上げ新年のご挨拶といたします。



地域支援員養成基礎講座終了！

7月9日に開講しました地域支援員養成基礎講座は、10回の講義と2日間の実習の全日程を終え、11名の受講生全員が修了されました。

講座の最終日には、今年4月からあさがおで活動している地域支援員がシンポジストとなり、ミニシンポジウムを開催しました。シンポジストには活動の実態、訪問活動のなかで感じていること、悩みやその解決方法などを報告してもらいました。そのなかで「活動する前は、生活費を届けるだけなら簡単だと思っていたが、単に届けるだけではなくその方に合った支援が必要であり、思っていたよりも難しいと感じた。反対に、実習で初めて障がいを持つ方々と出会ったときにはどう接すればよいか悩んだが、訪問を重ねるうちに難しいと感じていた気持ちが薄れていった」という意見がありました。また、「担当していた被後見人さんが亡くなったとき、どう受け止めてよいか悩んだ」、「声かけの仕方を、施設のスタッフに尋ねながら工夫している」、「悩んだときには、相談員に相談し、訪問先で解決しようとしていないで持ち帰るようにしている」など、生の声をたくさん聞くことができました。

本講座が受講生にとって地域支援員体制への理解を深めるきっかけになり、地域支援員になることへの心構えを持っていただくことにつながればと思っています。また基礎講座修了者を対象に、来年度は専門講座を予定しています。

全国権利擁護フォーラム

12月6日(日) 奈良弁護士会館にて近畿の6つの権利擁護団体が集い、市民の参加も得て、『権利擁護支援フォーラム』が開催されました。これは、今年9月に設立した「全国権利擁護支援ネットワーク」の活動の一環として、全国約300の団体がブロック別に地域フォーラムを開催するというもので、近畿ブロックがトップを切って開催することになったものです。



各団体からは地域における権利擁護支援の推進を目指した活動内容をはじめとし、権利擁護ニーズの状況や課題について報告がありました。支援の中身については、何が権利擁護になり、何が権利侵害となるかなど



支援方針の決定時に悩むこと、後見人と周りの支援者との連携・協働の困難さなどが話し合われました。また一方で、後見活動をしていく中で、被後見人の生活や表情に変化が生まれ、生き方やその人らしさに焦



点を当てた支援に関われたことを実感することも多いとの意見も出されました。これからの課題として、地域の中でのしくみ作り、安定した財源確保、地域の権利擁護支援者の確保、権利擁護に特化したセンターの設置などが提案されました。

あさがおもシンポジストとして参加し、取りくみの状況や財源確保の困難さ、滋賀県全体での相談機関や後見受任機関の不足による支援が行届かない現状、あさがおの地域の中でのあり方について模索していることなどについて発表させていただきました。

当日のテレビニュースでも取り上げられたため、懇親会の最中にはみんなでワンセグを覗き見ながら盛り上がり、最後には、各地域で身近かなところから支援の輪を広げ、権利擁護のしくみを作っていくこうとうということで無事解散しました。

滋賀県高齢者虐待問題研修会

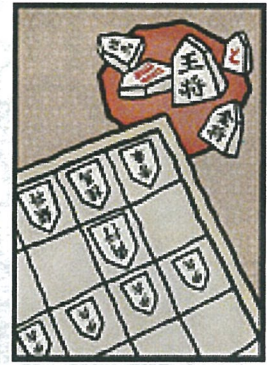
12月1日・14日・15日の3日間に亘り、明日都浜大津で滋賀県高齢者虐待問題研修会を開催しました。豊富な資料とデータを用的ながら絶妙なユーモアを交えて研修をして下さったのは、フィオーレ南海施設長の柴尾慶次先生です。研修は高齢者虐待に関するもので、「高齢者虐待の防止と介入の技術」や「高齢者虐待防止ネットワークの構築」「男性介護者の課題」など多岐に亘り、大変充実した内容での研修となりました。

グループワークでは参加者から事前に提出されたレポートをもとに、各グループで課題別に議論し、まとめたものを発表し合いました。受講者からは、「グループで議論したことで地域によって、高齢者虐待の介入方法等に関しての見解・対応の異なる部分があり、とても勉強になった。学んだ事を今後の活動に活かしていきたい」といった声も聞かれました。

柴尾先生は「虐待への介入も大切だが、モグラたたきにならないように、予防にいかに取り組むかが、より重要になる」と述べられ、大きな宿題をもらえたように思います。



後見活動日記



定年退職後に建てた自慢のご自宅で生活をされてきたCさん。物忘れもあり、遠方に住む娘さんも支援には限界があると、あさがおで成年後見をお受けすることになりました。

初めてご自宅に訪問した際にCさんは、「できることなら、この庭を眺めながら過ごし、最期は畳の上で迎えたいと思ってる…」と話されました。しかし、「ご自宅で一人になると不安が強くなり、早朝に深夜にとあさがおに電話をかけてくれるようになりました。それでも、なんとか自宅で過ごせるようにとケアマネージャー等と相談し、娘さんが帰省されている間は自宅で過ごし、その他は施設で過ごすように調整しました。

そんなCさんが体調を崩され、受診したところ残された時間がそう多くないことを主治医から聞かされました。Cさんは「自宅に帰りたいが、娘に迷惑をかけたくない…」とも話されています。

た。娘さんも大変悩まれ、どのような形で最期の看取りをするのかを関係者と検討に検討を重ねました。その結果、娘さんに帰省してもらおう期間を増やし、往診や訪問看護の体制を確保し、自宅と施設を行き来する形でなんとか自宅で過ごせるように取り組みました。

退院日には、ご自慢の庭の手入れに植木屋に入ってもらい、庭がきれいになっていく様子をつれしそくに眺めていただくこともでき、その後も毎日庭をつれしそくに眺めておられました。

しかし、徐々に様態が変化し、娘さんもこの変化を受け止めるのが辛い様子で、何度もあさがおに連絡を下さる時には涙を流して抱えきれない思いを伝えて下さいました。後見人としては、Cさんの願いを支え続けたい。しかし、娘さんの負担にも最大限の配慮をしたい。そんな思いの中で何度も『Cさんの意思に反するが、入院という選択肢を考えないといけないかも知れない。』という思いが頭をめぐりました。娘さんも私たちも後悔のない支援ができるようにと、いろいろな可能性を考えて関係者と計画を幾通りもたてていきます。しかし『父を病人のように

したくない』と最期まで支援して下さる娘さんにも支えられ自宅での今まで通りの生活が維持できていきました。

そんなある日、Cさんはケアマネージャーと共に訪問した私に何度も拜むように手を合わせ、何かを一生懸命に伝えようとして下さりました。そして、私たちがご自宅を出た後で娘さんと、駆けつけた息子さんの顔を見て、大きく息を吸い込んで、そのまま息を引き取られたとのことでした。

あの時のCさんは何を伝えたかったのかはわかりません。しかし、自分の最期の『場』を自分で決め、そして、最期の『瞬間』さえも自分で選ばれたような気がしてなりません。どんなにCさんのその時の気持ちに想いを馳せても、もちろん答えに辿り着けることはなく、もっと違った支援があったのではないか…という想いは尽きることはありません。それでも、Cさんにとつて、思い残すことが少しでも少なくなる支援ができたのであればいいのに…と願っています。



おすすめ書籍紹介



『奇跡のリンゴ』 幻冬舎

石原拓治著



『精神病院を捨てたイタリア
捨てない日本』 岩波書店

大熊一夫著

今月の一句

いちばん大きな案山子に日の丸をつける

加藤風信旗

****あさがおの会員募集しています****

私達の活動に賛同・支援していただける個人・法人の会員を募集しています。

個人 入会金 1,000円 年会費 5,000円

法人 入会金 10,000円 年会費 50,000円

お問い合わせは 077-522-0799 まで

編集後記

昨年の11月9日から、新しくあさがおの職員として勤務させて頂いております小島拓也です。現在あさがおでは最年少となります(笑)

私は異業界からの転職となりますので、何の知識も経験もありません。しかし、何も無いところから出発できることを武器とし、一歩ずつ確実に力を付け、そして経験を積み上げて、とにかく歩みを前に前に進めていく決意で頑張っていきたいと思いますので、何卒宜しくお願いします。

昨年のあさがおはスタッフが増員されたり、新たな利用者の方々にご利用頂くようになったりと、色々な出会いと共にありました。

今年は昨年よりも、更なる喜ばしい出会いがありますことを願いつつ、あさがお職員一同、力を合わせて地域の為に、社会の為に、頑張ってくださいますので、宜しくお願いいたします。

